



このたびは、ハピソン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
 ■ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
 ■この取扱説明書は大切に保管してください。

- 【特長】
- 約 40 cmの真鯛のウロコを 2分程度で取れる。
 - 縦型設計で狭いシンク内でも作業しやすく、ウロコの飛散も抑えることができる。
 - ヒレ周りのウロコも横にして使えばラクに取れる。
 - コードレスで場所を選ばずどこでも使える。
 - IPX7 準拠の防水性能により、流水で洗い流しながら使える。
 - 回転方向が切り替えられ、魚の向き、利き手を選ばずウロコが取れる
 - 便利な包丁研ぎユニット（回転砥石、砥石カバー）付き。

便利メモ	販売店名	電話	() -
山田電器工業株式会社			
〒571-0045 大阪府門真市真島町 1 番 3号			

仕様 / アフターサービスについて

仕様	リチウムイオン電池 3.6V 3000 mAh 10.8 Wh
使用電池	約 3000 回転/分
回転数	0 ~ 40 °C
使用温度範囲	満充電時、魚 10匹のうろこを処理可能 (40 cmの真鯛 1匹の処理時間を 2分と仮定)
電池寿命	20°C
充電時間	約 4時間
充電温度範囲	0 ~ 40 °C
定格入力	DC 5V-1A (USB Type-C)
充放電回数	約 300 回
外形寸法	約 58 x 76 x 197 (mm)
質量	約 320 g
防水性	IPX7

アフターサービスについて

〇不具合等ございましたら下記お問い合わせ窓口にご連絡ください。

ハピソン
お問い合わせ窓口 ☎ **0120-810-575**
お土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00 >

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

山田電器工業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、連絡などのために利用し、その記録を保持することがあります。なお、個人情報をご適切に保護し、管理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

Hapyson ホームページ
https://hapyson.com

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- 危険** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 【危険】
- 分解や改造をしない (製品廃棄時の分解はのぞく)
 - 火の中に投入したり加熱したりしない
 - 高温での充電、使用、放置しない
 - 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
 - 発熱・発火・破裂の原因となります。

- 【警告】
- 異常、故障時には直ちに使用を中止する
 - 異常とは次のような内容です。
 - ・煙が出たり、異常なおいや音がある ・本体が破損した
 - ・内部に水や異物が入った
 - そのまま使うと火災・感電の原因になります。
 - 異常があるときは電源を切って、販売店にご相談ください。

警告 必ずお守りください

- 用途以外では使用しない
- 子どもに使用させたり手の届くところで保管しない
- 誤使用による破損やケガの原因となります。
- 端子カバーが確実に閉まっていることを確認する
- USBプラグや接続端子に金属片等の異物の侵入がないこと、破損していないことを確認してから充電する
- ぬれた接続端子にUSBプラグを接続しない
- ぬれたUSBケーブルは使用しない
- ショートや発熱による火災・故障の原因となります。
- ぬれた場合は通電せずに乾いた布で水分をふき取り、完全に乾かしてからご使用ください。
- 髪や衣服、アクセサリー等が巻き込まれないように以下の点に注意する
- ・長い髪は帽子やヘアカバー等で覆う ・作業中はアクセサリーをはずす
- ・袖のある服で作業する場合は袖まくりする
- タオル等の巻き込む可能性のあるモノの近くに置かない
- 作業場所は十分に明るくする
- 加工する魚はしっかりと固定して作業する
- 思わぬケガや故障の原因となります。
- 包丁研ぎの際、包丁の刃先を砥石に直角に当てない
- 包丁研ぎの際、砥石カバーを取り付けずに使用しない
- ケガの原因となります。

注意

- 作業中に回転軸や回転刃、回転砥石に触れない
- ケガの原因となります。
- 本機に重いものを載せたり、乗ったりしない
- ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
- 炎天下の車内や暖房機のそばなど温度の高くなる場所で保管しない
- 強い衝撃を与えたりしない
- 発熱・発火・破裂の原因となります。

ご使用上の注意

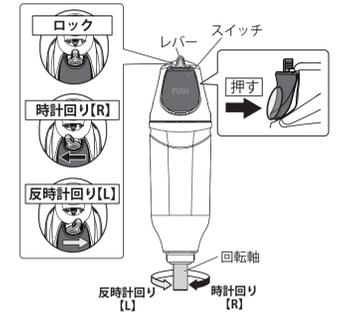
- 回転数が極端に落ちるほど、無理に押し付けしないでください。
- 付属の包丁ユニットは乾式のため包丁を砥石に当てすぎると焼けが生じる場合があります。
- 初めてご使用になるとき、長期間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。
- 長期間ご使用にならないときでも 1年に1回は充電してください。
- 防爆ゴムを細い針等で傷つけない
- 無理に取り外さないようにしてください。(防水性を損なうおそれあり)
- 防爆ゴムを接着剤で固定しないでください。(破損のおそれあり)



基本操作

基本操作

- ① 回転軸の回転方向を決めて下図に従いレバーを操作する
※ ロックの位置にあるときはスイッチを押しても作動しません。ご使用にならないときはレバーをロックの位置にしてください。
- ② 下図のスイッチの () 箇所を押し続けると回転軸が回転し、スイッチを離すと回転が止まる
※ 充電中にスイッチを押しても作動しません。



使いかた (ウロコ取り)

※以下の説明は右利き用の説明です。利き腕に応じて魚の向き、回転方向は使い分けてください。

詳しい使いかたはこちらからでもご確認いただけます。

事前準備
① 回転軸の差し込み口に回転刃を差し込む
※ 「カチッ」と音がするまで奥へ差し込んでください。
(磁力で着脱する仕様です。)

② 刃先カバーを取付け部へ差し込む
※ クリック感があるまで奥へしっかり差し込んでください。

ウロコ取り時の本体の持ちかた
回転刃を縦向きで使用 (魚全体のウロコ取りで使用)
回転刃を横向きで使用 (ヒレ周りのウロコ取りで使用)

スイッチは人差し指で押す

ウロコ取りの手順

魚全体のウロコ取り

- ① 魚の頭部を右図のように手で固定しウロコを取る
- ② 魚を右図のように裏返して反対側も同様にウロコを取る

頭部のウロコ取り (反対側も同様です)

- 魚の頭部を手で持って固定し、回転刃を細かく動かしながらウロコを取る
- ※ 頭部を固定している指を回転刃で巻き込まないように注意しながら作業してください。

刃先カバーについて
刃先カバーは手動で 360° 回転させることができます。ご使用時にウロコの飛散方向を確認しながら随時調整してください。

効率的なウロコの取りかた

以下のイラストは説明のため刃先カバーを省略しています。

- 基本的には回転刃を縦向きにして作業し、ウロコが取りにくい部位 (ヒレ周り等) は回転刃を横向きにご使用ください。
- 回転刃を尾ヒレ側から頭部側に動かすことでウロコを取ることができます。
- 作業者から見て魚の頭部を左向きに置き回転刃を縦向きにして作業する場合、手前側は時計回り[R]、奥側は反時計回り[L] に回転させて作業することで効率的にウロコを取ることができます。

仕様の詳細

●電源への接続が不十分ではありませんか？
→ USB充電ケーブルを電源へ正しく接続する。
●裏すぎるまたは、寒すぎる場所で充電していませんか？
→ 温度が 0 ~ 40 °C のところで充電する。
●定格以下の USB 充電ケーブルや電源アダプタを使用していませんか？
→ 定格の USB 充電ケーブルおよび電源アダプタで充電してください。

●電池残量が少なくなっていますか？
→ 充電してください。
●充電中ではありませんか？
→ 充電中はスイッチを押しても作動しません。
●レバーがロックの位置にありますか？
→ 回転方向を決めてレバーを時計回り[R]または反時計回り[L] に切り替えてください。
●うろこ取りや包丁研ぎ中に押しつけ過ぎではありませんか？
→ 安全装置が働き、回転が自動停止します。回転を再開するにはスイッチを一度離して 1分ほど待ってから再度押してください。

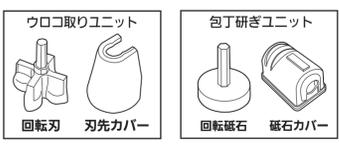
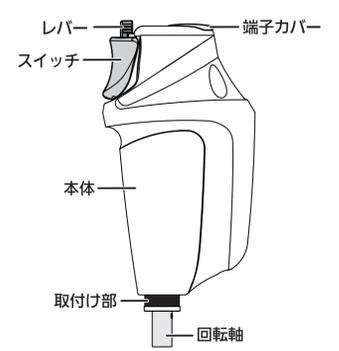
故障かな！

充電できない/充電速度が遅い

スイッチを押しても作動しない

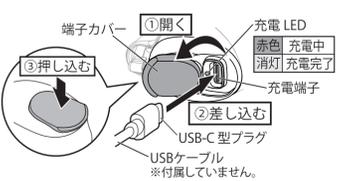
回転が急に止まった

各部のなまえ



充電のしかた

- 充電のしかた
- ① 端子カバーを開く
 - ② 電源のつがっている USB ケーブルの USB-C 型プラグを充電端子に差し込む
 - ③ 充電完了後、USB ケーブルを抜き、端子カバーを元の位置にしっかりと押し込んで閉める
- ※しっかりと押し込まないと防水性を損なうおそれがあります。



本製品を充電するための USB ケーブルおよび電源アダプタは付属していません。充電する場合は市販の USB ケーブルを使用し、パソコン等の USB ポートをご使用ください。USB ケーブルは Hapyson shop でもお買い求めいただけます。

USB A 型プラグ USB C 型プラグ

[Hapyson Shop]

使いかた (包丁研ぎ)

ご使用いただける包丁の種類

- ステンレス製 / 鋼製 / 割り込み包丁の研ぎにご使用ください。
- ※ 次のような刃物は使用できません。
セラミック、チタン製の包丁 / 果物ナイフ / 和包丁 / ハン切り包丁 / 冷凍ナイフ / 包丁以外の刃物 (ハサミ等)

事前準備

- ① 回転軸の差し込み口に回転砥石を差し込む
※ 「カチッ」と音がするまで奥へ差し込んでください。
(磁力で着脱する仕様です。)
- ② 砥石カバーの上カバーを本体の取付け部に差し込み、下カバーにはめ込む
※ 本体の向きは右図の向きに合わせてください。
※ クリック感があるまで奥へしっかり差し込んでください。

包丁研ぎの使いかた

- ① 持ちかた ※ 机等の平らな場所に置きながら使用してください。
- 右図のような持ちかたで本体をしっかりと押さえる
- スイッチは親指で押せるように

使いかた (包丁研ぎ)

② 研ぐ

スイッチを押しながらスリット a-b の順番で下図のように包丁を通して研ぐ

※ 研ぎ終わったらスイッチから指を離してください。

※ 回転砥石の回転の向きは (1) 持ちかたの図の持ちかたの場合は反時計回り [L] で回転してください。(包丁を左手、本体を右手で持つ場合は時計回り [R])

● 包丁名称参考

1. 刃先が砥石に当たる角度へ包丁を少し寝かせながら顎を差し込む
※ 包丁の顎はガイドよりも手前 (作業者側) に差し込んでください。

2. 包丁の刃先を 10 秒ほどかけてゆっくりと顎から切っ先まで研ぐ
※ 砥石の手前 (作業者側) に刃先を当てて研いでください。

③ バリ取り

スイッチを押さずに回転砥石の回転を止めた状態でスリット a-b の順番で包丁を通してバリを取る

※ バリが残る場合は 仕上げプレートでプレートに刃先を残ったバリを取ってください。

製品廃棄時の電池パックの取り出しかた

※製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
※全放電済みでスイッチを押しても作動しないことを確認してから電池パックの取り出しを行ってください。
※止めネジの取りはずしは市販のプラスドライバーをご使用ください。

【危険】

- 取り出した電池パックは再利用しない
- 取り出した電池パックで以下のことはしない
- ・火中投入、加熱、水中投入しない
- ・くぎを刺したり、衝撃を与えたりしない
- ・金属類と一緒に持ち運んだり保管しない
- ・コネクタ部に金属などを接触させない
- ・分解、改造しない
- ・直射日光のある場所や高温の場所に放置しない

【警告】

- 電池が液もれしていたり、異常がするときは火災より遠ざかる
- 液もれた電池液を吸引し、破損・発火の原因となります。

●電池の液が目、皮膚にふれたときはすぐに多量の水で洗い流し医師の治療を受ける

● 失明やケガのおそれがあります。

- ① 下図のようにスイッチを取りはずす
- ② 下図箇所の止めネジを3本はずす
- ③ A 部を開いてコネクタを引き抜く
- ④ 下図箇所の止めネジを3本はずす
- ⑤ 内カバーを上にあけて電池パック内カバーを取り出す

■使用済み電池の届け先

リチウムイオン電池専用

- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。HP: https://www.jbrc.com